

平成19年7月発行



神奈川病院 広報誌

# 神奈川病院だより

第20号



## 独立行政法人 神奈川病院の理念 国立病院機構

基本理念：私たちは、地域の皆様から信頼される病院づくりに努め、常に新しく良質な医療の提供をいたします。

神奈川病院看護部長 羽生 美恵

### 神奈川病院に着任して

4月1日神奈川病院に赴任して参りました。宜しく願い申し上げます。  
私は独立行政法人化して4年目になる年に地元で働くことが出来うれしく思っております。

地域の皆様には日頃から大変お世話になっております。病院が大きく変化をしている中で私もその一員としてかかわることが出来ることに、夢と希望を持って毎日楽しく仕事をさせてもらっております。当院の理念でもあります地域の皆様から信頼される病院づくりに努めて参りたいと思います。



信頼され、選ばれる病院で良質な医療を提供するためには、第一に患者さんの満足度を高められる病院であること、第二には職員の働く環境を整えることが出来る病院であることが大切なことだと考えています。

看護師の役割の中に「生活を整える」があります。役割を果たすためには一人一人が感性を高め、生活の質の向上に努められる環境にしていきたいと考えています。

職員は日々の業務や研修・自己研鑽で技術の向上にも努めておりますが自分の持てる力を人のため使える、人の小さな変化にも気づける人間としても成長できるように環境を作っていきたいと思っております。皆様に多くの「快」を感じていただける病院であるように努力いたしますので当院について、また、看護部についてご意見をお寄せ頂くことをお願いいたします。最後に付属の看護学校も今年度をもって閉校のため最後の学生の3年生が実習をしております。職員同様よろしくお願い申し上げます。

# 5月12日は「看護の日」

## 看護部「看護の日」実行委員会

今年も医師・栄養士・事務の職員とともに5月12日（土）「看護の日」のイベントを実施しました。

内容は、血圧測定、体脂肪測定、体重測定、医療相談、栄養相談を実施しました。医療相談は小児科医師が担当し相談内容も様々でしたが、時間をかけて参加いただいた方々とお話できました。また、栄養相談は、栄養士が担当し、高血圧・肥満などの食事相談が多く、献立の工夫などをアドバイスさせていただきました。

晴天にも恵まれ、母の日の前日ということもあり、「ぜひお願いしたい」と大勢の方々に参加していただきました。「以前、神奈川病院に入院したことがあります」「いつも通院しています」という方や「今、他院にかかっているんだけど、神奈川病院にもかかれるの」と尋ねてきて下さった方には、受診をすすめ、「今度、受診してみようかしら」という声や「他の病院で健診を受けたけど神奈川病院を受診してもいいですか？」という嬉しい声を聞くこともできました。今後も病院だけにとどまらず、職員全員が地域の方々の健康管理のお手伝いが出来ればという思いで、積極的に院内・院外で活動して行きたいと思えます。

参加いただいた皆様、そして様々な協力をいただいたイトーヨーカドー秦野店の職員の皆様に深く感謝いたします。

参加人数	延べ人数：合計350名	
血圧測定：145名	体脂肪測定：135名	体重測定：25名・
栄養相談：25名	医療相談：20名	



## 「結核の患者さんが退院されるとき」

結核を発症した患者さんが、2～3ヶ月の入院期間を終え、退院が決定すると退院後の生活を支援するための「4者面談」が実施されます。結核の病気については、前回記載しましたが、「内服を正しく継続する」ことがとても重要です。内服の継続は退院後も続くため、病院の看護師以外の支援者が必要になります。その支援者が地域の「保健師」です。4者というのは、患者・家族、保健師、病棟看護師、外来看護師で、さらに、現在は、患者さんの生活環境に合わせて必要に応じて医療ソーシャルワーカー（MSW）も加わることがあります。

退院が決定されるとすぐに「退院から治療終了までの支援計画表」が患者さんと一緒にたてられます。

地域の保健師は入院時から患者さんと面談を繰り返し、また月に1回は病院と定例会議をもち情報の共有を図っています。これからも退院後、安心して治療が出来るように、病棟・外来・地域で支援をしていきます。

### 【豆知識】

平成19年4月より結核に関する法律の改正がありました。

今までは結核予防法34条・35条という法律でしたが、**感染症法第37条、37条の2**に改正されました。(感染症法は二類、ジフテリアやSARSと同様の扱いになります)

結核と診断されたら、医師は直ちに保健所に届け出する義務があります。

届けられた各地域の保健所から患者さんへ入院勧告書（措置）が交付されます。

また、公費負担に関しては、入院の申請は30日、外来通院の場合も6ヶ月が有効期限で、その都度申請が必要です。

# 地域医療機関紹介

## 宮野内科小児科医院

院長名 宮野 龍介                      診療科目 内科・小児科  
所在地 秦野市寿町2-9                  電話番号 0463-81-2802  
診療時間 AM 9:00~12:00      PM 3:00~6:00  
休診日 日・祝日・土曜午後



当院は、昭和39年に父、宮野和夫が遠く東北岩手県より、ここ秦野の地に宮野医院を開設して以来、43年の長きにわたり、秦野市の地域医療に携わってまいりました。私自身も20年以上前になりますが、大学から派遣され、1年間神奈川病院に勤務させていただいた事があります。当時のスタッフの方々は、ほとんどいらっしゃいませんが、なつかしい思い出がします。現在父の後を継ぎ内科医として活動しておりますが病院勤務から父の元へ帰った当初は困惑の連続でした。

開業医は専門以外の病気も見なくてはなりませんし往診等の業務も必要とされます。より高度な検査や入院の必要な患者さんのお願いなど、神奈川病院には当初よりお世話になりっぱなしですが、今後もますます病診連携の重要さはより顕著になると思われれますので、一層のご協力をお願いしたいと思います。神奈川病院には今後も地域の基幹病院として我々開業医とともに地域医療をより良い物にしていだければと思います。神奈川病院の皆様よろしくお願いたします。

## 島田内科医院

院長名 島田 繁                      診療科目 内科・小児科  
所在地 秦野市曾屋1191-3              電話番号 0463-81-2005  
診療時間 AM 9:00~12:00      PM 3:00~6:45 (水曜PM 3:00~6:00)  
休診日 日・祝日・土曜午後



当院は、昭和56年7月に有床診療所（救急指定）として開業し、約10年間入院患者さんの治療もさせて頂いておりました。その後は無床診療所として現在に至り、今年で26年を迎えます。場所は曾屋神社よりやや山側に位置し、夏は弘法山の花火が良く見えるところです。当院の特徴といたしましては専門性の無いところでありまして、「まずは患者さんの訴えを聞いてから」をモットーとしております。その為に色々な患者さんが受診することとなり今では専門の先生への紹介、病院への紹介も大切な仕事となっています。このような事情により、国立療養所神奈川病院（伊藤院長）の時代より色々とお世話になっておりました。現在は神奈川病院として市来寄先生が院長になられ、副院長の加勢田先生により地域医療連携室を立ち上げていただき、新生神奈川病院として我々開業医に門戸を開いていただき大変感謝しております。また、連携室の皆様による優しい対応に感謝しております。

# 「病棟で楽しむ秦野高校の学生さんによる チェロ、バイオリンの大演奏会」

4病棟 看護師長 青井 久江

神奈川病院4病棟は、40床のベッドのうち半数の20床は在宅復帰を目指す患者さんを中心とした亜急性期の病床です。現在16名の患者さんにご利用いただいておりますが、リハビリテーションの時間を除くと患者さんにとっては刺激の少ない時間が続きます。そこで「少しでも患者さんに楽しみを！」という看護師の声に応えてくれたのが秦野高校の弦楽部の学生さん達。土曜日のひとときが素敵な音楽鑑賞の時間となりました。

協力してくれた学生さんはチェロ2人、バイオリン3人、ビオラ2人の総勢7人。参加してくれた患者さんは18名。4病棟の食堂での演奏会なのでちょうどよい人数でした。選曲は患者さんにもわかりやすい、よく知られた名曲ばかり。中でも好評だったのは童謡のメドレー。小さい頃から慣れ親しんだ名曲に郷愁をそそられ涙を見せる方もいらっしゃいました。患者さんの声を聞くと「とてもよかった。特に童謡を演奏してくれたときには涙が出た。」「俺達の世代にはやっぱり知っている曲がいいね。」「またお願いしたい。秦校はうちの孫も行ってるし、私も若いころ手伝いに行ってたこともあるんだよ。」「入院中でよかった。家にいたら聞きにくるのも一人じゃこられないしね。音楽はやっぱりいいよ。」「元気なころはよく音楽会にも行ったけどこんなになってからは久しぶりだよ。よかった。」と大好評でした。

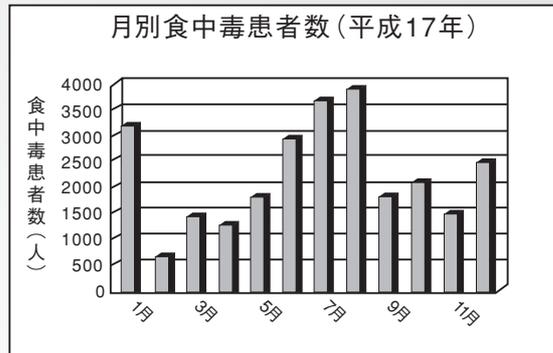
また機会を作ってぜひこんな演奏会を開きたいと思います。ご協力いただいた秦野高校の学生さんありがとうございました。



# 食中毒にご注意を！

栄養管理室

これからの時期は、食中毒が心配な季節になってきました。  
例年6月～9月は気温が高くなり、食べ物の中で食中毒菌が増えやすくなる季節です。



食中毒を起こさないためには、

**「食中毒菌をつけない」「食中毒菌を増やさない」「食中毒菌をやっつける」**

この3つが大切です！！

「食中毒を起こさない」ために、以下のことに気を付けましょう！

1. 清潔に調理をする

- ・調理や食事の前に必ず手を洗う。
- ・調理に使用する器具は、清潔なものを使用する。

2. 食べるまでの時間を短く

- ・調理した食品は、なるべく早く食べましょう。
- ・調理中や残り物の食品を放っておかない。



3. 十分な加熱をする

- ・加熱する食品は中心部まで熱を通す。

(中心部を75℃で1分間加熱するのが目安です。特にひき肉料理や卵料理は中心部まで熱が通っているかを確認しましょう。)

**基本的な予防法を守り、食中毒を予防しましょう！**



# 第1回国立病院機構関東信越ブロック 看護学生フォーラムに参加して

神奈川県立看護学校 教員 増山 玲子



第1回国立病院機構関東信越ブロック看護学生フォーラムが、4月27日に千葉県の幕張メッセで開催されました。この看護学生フォーラムは、今年初めて関東信越地区にある国立病院機構看護学校16校の3年生、745名の学生が集まり、「ひろがる絆、つながる心」というテーマをかかげ、学生の帰属意識を高めるとともに、情報交換やお互いに刺激し合い看護を学ぶ意欲を高めることを目的に開催されました。午前の部は、「学生だから出来る看護」というテーマでシンポジウムを行ない、当校から鈴木麻美さんがシンポジストとして選ばれ実習での看護体験を基に「患者さんの小さな変化に気付き、個別性に合わせた援助を見出し看護していきたい。」ということを力強く発表しました。他校のシンポジストとは当日初めての打ち合わせでしたが、機構の学生同士ということもあってすぐに打ち解けたようでした。フロアの学生からの鋭い質問に、関心させられたり、また「鈴木さんはきちんと応答出来るか？」とハラハラしながら聞いていました。午後の部は、講演（機構のキャリアパス、認定看護師への道）、病院説明会、看護体験コーナー、国家試験対策が平行して開催され、学生達は、自分の希望するブースを選択して参加していました。学生により参加したところは様々ですが、皆一様にオレンジ色の機構特製手提げバッグを下げ、各病院から配付された職員募集案内やキャンディー、ボールペンで膨らませ、嬉しそうに持参していました。最初は「開催場所まで遠い。」と不満を漏らしていた学生もいましたが、終わってみれば「一日楽しかった。」「良い刺激になった。」などという感想が聞かれ、学びのある有意義な1日を過ごしてきました。



# AED (Automated External Defibrillator)



自動体外式除細動器が  
6ヶ所に設置されました。



外来（玄関正面の柱）



2病棟（階段を上った右）



中央廊下（売店斜め前）



4病棟（病棟食堂の前）



看護学校（寮に行く廊下）



5病棟（エレベーターホール）



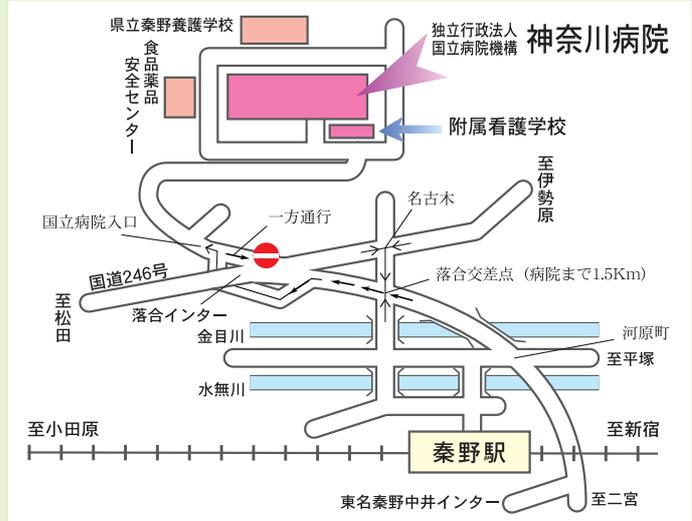
※当院ではワクチン接種は出来ません。抗体検査のみ行っております。

## 各科診療担当医表 平成19年7月4日現在

科別	曜日	月	火	水	木	金
総合内科		齊藤(真)	前島	前島	前島	齊藤(真)
腎臓内科			前島	前島	前島	
循環器内科		亀崎	吉田	松崎(秀)	亀崎井	吉田
呼吸器内科		大久保		宮本 9:30~	布施川	大久保
消化器内科		齊藤(真)				齊藤(真)
神経内科				森田		大友
心療内科 精神科						松崎(淳)
一般外来	小児科	萬木 10:00~ 石渡 14:00~(予約のみ)	齋藤(暁) 渡辺 14:00~(予約のみ)	萬木	野村 石渡 山辺 9:00~	萬木
	アレルギー科 (小児)	萬木 10:00~ 石渡 14:00~(予約のみ)	齋藤(暁) 渡辺 14:00~(予約のみ)	野村 午後 第1・3予約外来 第2・4予約接種	野村 渡辺 山辺 9:00~	萬木 齋藤(暁)
	外科	櫻井	当番制	徳原	当番制	櫻井 清水
	消化器外科	櫻井		徳原		櫻井
	呼吸器外科			加勢田 柿崎		加勢田 柿崎
	脳神経外科		齋藤(良)		市末 寄	
	整形外科	山本 6/4 6/18 草三 山宅	三宅 高見澤	草山 (神元) 装具外来	予約のみ	神元 高見澤
	泌尿器科		金尾			田野口
	皮膚科			川崎		
	特殊外来	小児科(肥満)				
成育心身医療科						松崎(淳)

※整形外科・山本先生は毎月2回不定期です。

## 案内図



小田急線「秦野駅」下車神奈川中バス④番乗場「国立神奈川病院」行  
終点(所要時間約15分)

※車利用  
東名高速道路「秦野中井」より約10分  
◎矢印の方向へお進み下さい。●は進入出来ません。

## 編集担当者

統括責任者：市末 寄 潔  
発行責任者：加勢田 静  
編集責任者：徳竹 伸重 鈴木 英美  
編集：齊藤 敏樹 細入 憲 上村 彩  
手島 妙子 村田 修一 大庭 範子